

京都議定書における森林の取り扱いに関する包括的研究	
題目	ミャンマーにおける森林減少・劣化対策を目的とした Community Forestry の役割
著者	平塚 基志、天野 正博、森川 靖

1. 背景・目的

熱帯林を有する途上国において、森林減少・劣化を抑制し、かつ自然資源を持続的に利用するための自立型村落社会を形成・構築することの重要性が増している。本研究では、ミャンマーの自然資源を生活の糧としている農山村地域を対象に、住民参加型で進める Non-Timber Forest Products (NTFPs) 等の森林資源の管理手法である Community Forestry (CF) の有効性の検証を目的とした。そして、CF の管理計画を立案・実施するにあたり、社会関係資本 (Social Capital) の重要性を評価した。

2. 本年度の研究開発・成果

対象としたミャンマー中央部のシャン州南部の Taunggya 村は 1970 年頃に定住が開始され、その後の移民によって人口が増加した (2021 年は人口約 1,240 人)。そうした特徴を踏まえ、Taunggya 村への移民時期の違いにより NTFPs への依存度が異なっているか、すなわち先祖からの土地を引き継いでいない移住者にとって、Taunggya 村の NTFPs 等の森林資源が高付加価値化 (地域住民にとってのセーフティネット) されているかを分析した。

村への移住年に基づき、2008 年以前に移住した世帯、2009 年から 2013 年の間に移住した世帯、そして 2014 年以降に移住した世帯の 3 つに分け、それぞれの世帯収入 (年平均) を比較した (表 1)。その結果、世帯収入 (年平均) は早い段階で移住した世帯の方が大きかった (One-way ANOVA、 $p < 0.05$)。これは、森林を含む土地資源へのアクセスが早期の移住者の方が容易であったことに起因していると考えられた。NTFPs 由来の収入についても、早期の移住者の方が収入は大きかった (One-way ANOVA、 $p < 0.1$)。そして、2014 年以降の移住者は相対的に NTFPs 由来の収入が少ないこ

とが分かり、NTFPs が土地を有さない移住者にとってのセーフティネットとしての効果は限定的であることが分かった。

表 1 Taunggya 村における移住時期の異なる世帯の世帯収入 (年平均) とその内訳

移民時期	世帯収入 (MMK/世帯/年)	NTFP 収入 (MMK/世帯/年)	NTFP 収入 の割合 (%)
2008 年以前	3,775,363	965,742	25.6
2009-2013 年	3,836,054	470,008	12.3
2014 年以降	1,994,102	305,475	15.3

次に、Taunggya 村においてベースライン情報として収集した社会経済データのうち、「世帯収入についての満足度」を従属変数とするロジスティック回帰分析を行った。その結果、1) 定住者 (2008 年までに移住したか) か移住者 (2009 年以降に移住したか) か、2) 土地利用に係る協議への参加頻度 (5 段階評価)、3) 世帯主の年齢が影響していた (表 2)。この結果からも、移住してからの期間が短い場合は資源へのアクセスが困難であることが分かった。また、資源へのアクセスを調整するために連携していくことの重要性 (Bonding Social Capital の重要性) が示された。

3. 次年度の研究計画

新型コロナウイルス感染症とミャンマーでのクーデターの影響から、現地での詳細なデータ収集が困難になっている。そうした状況に留意しながら、CF の高度な導入・実装を進めるにあたり、地域住民と行政担当者との関係を深めること (Bridging Social Capital の向上) の効果検証、さらには CF の管理計画 (30 年間の計画) にアカデミアが参加することの効果検証 (アクションリサーチを適用することの効果検証) を進める予定である。

表 2 Taunggya 村における地域住民の「世帯収入についての満足度」を従属変数としたロジスティック回帰分析の結果

説明変数	B	Significance	Exp. (B)
定住者か移民者か (カテゴリ)	1.443	0.003	4.233
世帯主の年齢	-0.035	0.021	0.965
農地面積 (acre)	0.044	0.335	1.045
土地利用に係る協議への参加頻度 (5 段階)	-0.252	0.094	0.777
村での協働への参加頻度 (5 段階)	0.070	0.631	1.073
Constant	-0.820	0.476	0.440